

# 2002年ハールレマミーア国際園芸博覧会 日本国出展日本庭園報告書



財団法人 都市緑化基金

# まえがき

「国際園芸博覧会フロリアード2002」は、平成14年(2002年)4月6日より10月20日まで、オランダ王国ハールレマミアにて開催されました。

日本国政府は、平成13年(2001年)3月、この国際園芸博覧会に公式参加することを閣議了解し、国土交通省が屋外の出展を、農林水産省が屋内の出展を担当することが決定され、これを受けた当財団が屋外出展業務を担当することになりました。

フロリアード2002は、オランダにおいて10年に一度開催される国際園芸博覧会で、前回は平成4年(1992年)にハーグ・ズータメア地区において開催され、今回と同様日本国として参加出展をいたしました。

出展する日本庭園の計画、設計については、当財団内に設置されている海外日本庭園委員会において審議を頂きました。庭園の出展区面積は、約1,150m<sup>2</sup>、その敷地の中央を会場の園路が横断した変則的な形状地で、後背地には公園の森、前面には広い湖が広がるといった場所であることから、これらの条件を生かして、日本庭園の様式美を見せるという空間構成をとり入れました。すなわち、楓を中心として日本の渓谷の中を歩くような「幽谷の庭」を公園側に、白砂と石を配した「漣紋の庭」を湖側に配し、露地庭風と石庭風の2つの庭園様式が景観的には一体なものとなるよう創出しました。

フロリアード2002には、会期中、ヨーロッパを中心とする世界各国から230万人の人々が訪れ、日本庭園のきめ細かな創り込みや、日本から運んだ樹木の珍しさもあって、多くの人々が本庭園を観賞されました。

また、恒例となっている国際コンテストにおいては、本庭園が審査團評価点第2位の大変高い評価を得て「優秀栄誉賞」を受賞するとともに、本庭園の樹木を提供した川口市と安行の川口農業青年会議所は、樹木単体のコンテスト部門において、最高の金賞、銀賞、銅賞の3つの賞を獲得しました。

こうした高い評価を受けた日本庭園は、ハールレマミアの公園施設の一部として、現地に残すこととし、末永く日本の庭園を観賞していただくよう、国際交流の進展に役立てることといたしました。

終わりに、「国土交通省」並びに共同出展の「新潟県」「静岡県」「愛知県」「兵庫県」「川口市」「(財)静岡国際園芸博覧会協会」及び「(財)淡路花博記念事業協会」はもとより、「海外日本庭園委員会」、在オランダ日本大使館をはじめ、日本庭園の計画、建設、管理・運営に携わっていただいた多くの関係者のご協力、ご尽力によりまして、無事に出展の目的を達成することができましたことを、ここにあらためて感謝申し上げる次第であります。

平成14年3月

財団法人都市緑化基金  
会長 樋口 廣太郎

オランダで半年にわたり開催された国際園芸博覧会「フロリアード2002」は、訪れる人々を魅了し続け、10月20日に幕を閉じました。

世界の40カ国近くが参加したフロリアード2002は、国際園芸博と呼ぶにふさわしい博覧会となりました。

日本の出展は、世界中から訪れた人々に高い評価を得、『アジアの入口』と名付けられた湖のほとりの日本庭園では伝統的な日本の造園手法を見ることができ、また屋内出展では彩りも鮮やかに、様々な展示が期間ごとに貴重な情報とともに繰り広げられ、数多くの人々を惹きつけました。

日本からもジャパンフェスティバルのみならず、期間を通じて多数の方々が訪れて下さい、フロリアードの成功へつながりました。

またコンテストにおいては、優秀栄誉賞並びに金賞を受賞されましたこと、まことにおめでとうございます。

今後日本で開催されます2004年の浜名湖花博、そして2005年の愛知万博の成功をお祈りいたします。

フロリアード2002にご支援、ご協力をいただき、どうありがとうございました。



2002年10月24日 ハールレマミア  
会長 ジャン・ヴァン・ドゥーズバーグ

# 2002年ハールレマミー国際園芸博覧会の概要

## ■主旨

花の国オランダで10年に1回開催される欧洲最大規模の園芸博覧会「フロリアード」。「花のオリンピック」の名を冠するにふさわしく、世界中の花と緑が一堂に会します。

今回で5回目となるフロリアード2002のテーマは“Feel the art of nature”(自然の美に触れる)でした。人間の生活と環境との共存を図ることを目的に、198日間にわたり開催されました。

## ■開催場所

本博覧会の会場であるハールレマミーは、オランダ12州600余りの地方自治体の中で一番面積が広く、11万人の人口の都市です。150年前、南ザイデル海と続いているハーレマー湖水を排出して造成した都市であり、農業生産地をはじめ住宅地、教育設備も整い、スキポール空港を擁します。



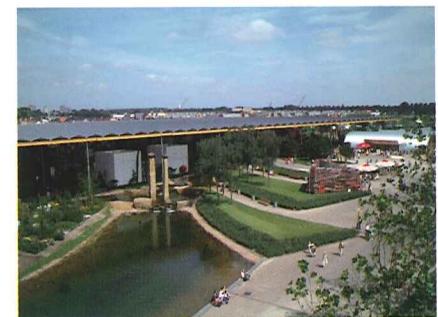
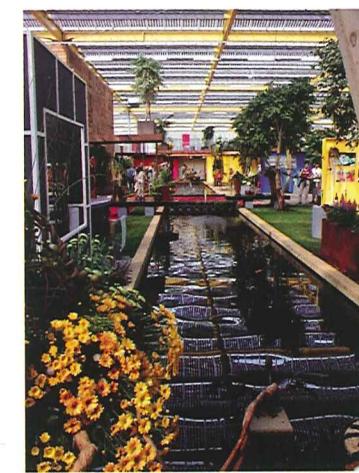
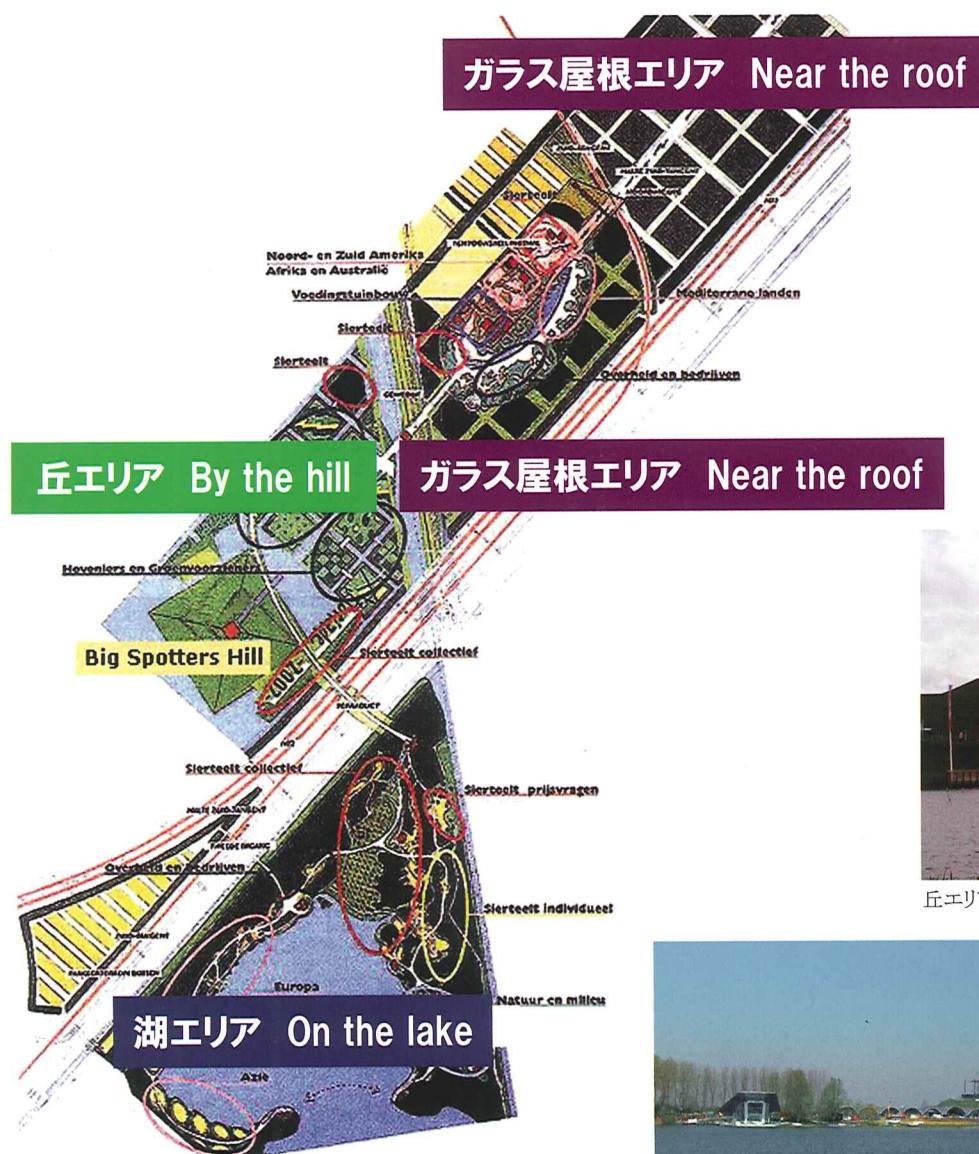
## ■会場の概要

会場となる敷地のデザインは、もとよりの自然をベースにしたもので、20年前に基礎が造られたハールレマミーの森や、アムステルダムの町を守る目的で造られたジェニ堤防(ユネスコの世界遺産に指定されています)という、会場のほぼ真中を通る自転車/歩行者道路も会場構成に取り入れられました。

名 称	2002年ハールレマミー国際園芸博覧会 International Horticultural Exhibition Floriade 2002, Haarlemmermeer
テ マ	「自然の美にふれる」 Feel the art of nature
開 催 地	オランダ王国ハールレマミー (アムステルダム近郊)
開 催 期 日	2002年4月6日(土)～10月20日(日) 198日間
開 催 主 体	フロリアード2002財団 (Floriade 2002 Foundation)
会 場 規 模	約65ヘクタール
参 加 国 数	40カ国
来 場 者 数	2,295,367人

 **Floriade**  
feel the art of nature

# 2002年ハールレマミー国際園芸博覧会会場



# 日本庭園の概要

## ■設計の趣旨

設計は、次の敷地条件等を生かして行ないました。

- (1) 敷地中央をフロリアード2002会場の園路が横断している
- (2) 東面(後背地部分)は公園の森があり、西面(前面部分)は前面に広がる湖と遠く対岸に森が見渡せる雄大な景観が得られる
- (3) 敷地内にこの景観を眺める視点場を設ける
- (4) アジアゾーンの入口部分にあたることから、そのゲートとなるようなシンボル性のある施設を設ける

庭園設計の方針は、日本人の自然観の根底にある、一本の木に森を見、わずかな白砂に大海を感じる、といった日本人の感性を伝えるデザインを取り入れました。

## ■面積

約1150m<sup>2</sup>(幽谷の庭—東側:約490m<sup>2</sup>、漣紋の庭—西側約660m<sup>2</sup>)

## ■庭園の構成

庭園の全体構成及び意匠構成は、日本庭園の伝統的手法を用いて、森側(東側)に滝や流れを配した「露地風庭園(幽谷の庭)」を、湖側(東側)に白砂に風紋をつけた「石庭風庭園(漣紋の庭)」をと、2つの様式の庭園を園路を挟んで配置し、景観的な対比を行っていました。

フロリアード2002会場内の花々やヨーロッパ各国が展出する庭園を楽しみながら、湖の周りを進んでくると、アジア各国の庭園出展区画に至ります。そのアジアゾーンの入口に日本庭園は位置しています。日本庭園へは、まず「竹渓の門」を通りオリエント・日本を意識してもらいながら、「幽谷の庭」へと誘います。「幽谷の庭」の入口には「楓門」を配し、ここから水の流れと深山幽谷のなかに迷い込んだ雰囲気を作り出します。そして水の流れに沿って進むと、この庭園の中で最も高い場所(約1.8mの地盤高)に草屋根の「湖曲亭」があります。「湖曲亭」に座ると、前面の植栽の工夫により園路の人ごみを意識せずに、「漣紋の庭」の石庭から続く湖と、その向こうに広がる森の雄大な眺めが目に入ります。「漣紋の庭」の前は、見物の人溜まりと小規模な催事が行える広場があります。

このように、周辺の森や前面の湖を借景として、小さな日本庭園の面積を、オランダの雄大な広がりの風景の中に溶け込ませるデザインとっています。

### —竹渓の門—

アジアゾーンの入口として、アジアで共有する植物素材の竹を使い、アジアゾーンのゲート性を高めるとともに、高さを約2mとし来園者の視線と意識を一時的に遮断することにより、その先に展開するシーンへの期待感を高めます。

### —楓門と寄石垣—

楓門は杉皮葺きの簡素な構造とし、幽谷の庭への結界となるよう日本風の門を設けました。また、開会式やジャパンデーの時には、この門の前にお客様をお迎えする生花を大きな壇に飾ります。

寄石垣は高さを0.5~1.5m程度とし、幽谷の庭を別な空間に仕立て、湖曲亭から園路の人ごみを視覚的に遮断する役割を果たすと共に、日本の伝統的な石垣の組み方を紹介します。

### —幽谷の庭—

日本の美しさの凝縮と神秘的な雰囲気を醸し出すよう、モミジ類の植栽を基本に、清流、木と竹の筍、蹲を配し、後背地の公園の樹木とあいまって、あたかも森の中にいるような雰囲気を作り出します。

### —漣紋の庭—

封鎖的な幽谷の庭から一転して、白砂に風紋を描き、石を配しそのまま湖へと続く景色は、石庭、湖、対岸の森、空が一体となった、ダイナミックで明るく広がりのある景観を楽しめてくれます。

### —湖曲亭—

日本庭園の中で唯一屋根がある木造の建物です。広いフロリアード2002の会場を歩いて疲れた人々が、涼しげに憩い、雄大な眺めを満喫し、日本庭園が醸し出す安らぎの空間となります。この建物の中には、共同で展出した各団体のパネルを飾り、現代の日本の一端を紹介し、またジャパンデー等の時には、茶道や書道の実演・体験など日本文化の情報を発信する場になります。



# 日本庭園工事経過

## ■庭園の設計

フロリアード2002に出展する日本庭園の整備作業は、2001年1月の出展庭園設計のプロポーザルから始まりました。出展区画の敷地条件などを巧みにいかした(株)都市計画研究所の提案が採用されることとなりました。その後、海外日本庭園委員会での基本計画案等の審議を経て、施工しながら現地の状況にあわせて、設計を組み立てていく「デザイン アンド ビルド」方式で庭園を完成させました。

## ■整備工事の経緯

庭園を整備するための工事については、海外での日本庭園築造の経験が豊かであるなどの条件を満たす施工者を(社)日本造園建設業協会に推薦依頼し、日比谷アメニス、岩城造園、箱根植木の3社がJVを組んで施工しました。

### —樹木等の準備—

出展庭園に用いる樹木等の植物は、一部を除いて日本の樹木等を用いました。樹木等は10年前のフロリアード(ハーグ・ズータメア1992)と同じく、埼玉県川口市及び安行の川口農業青年会議所の協力を得て、植栽1年前からの隔離栽培等を経て、2002年1月に保冷コンテナにより日本からの荷出しを行いました。農業青年会議所の会員の方々は、直接現地に出向いて、大事に育てた樹木等の植え付け作業を行いました。

樹木以外の庭園材料としては、竹材は日本から、石材はドイツ・ワースティン、漣紋の庭の白砂はイタリアなど、日本とヨーロッパ各地の材料を使っての庭園工事となりました。また、樹木を大事にするオランダでは、出展区画内の立木の伐採・移植は認められないため、これらを庭園の樹木として生かしながらの整備が行われました。

### —工事の工程—

準備工	材料の調達、工事の手配など	2001年8月～9月
造成工	盛土、掘削、石垣、石組みなど	2001年9月～11月
建築工	湖曲亭などの建物など	2001年10月～2002年1月
植栽工	植栽、竹垣、園路舗装など	2002年2月～3月
仕上げ工		2002年3月～4月

設計 株式会社都市計画研究所

施工 日比谷・箱根・岩城建設工事共同企業体

樹木 埼玉県川口市、川口農業青年会議所



工事前の日本庭園の様子



工事中の漣紋の庭



工事中の湖曲亭

# 日本庭園の風景

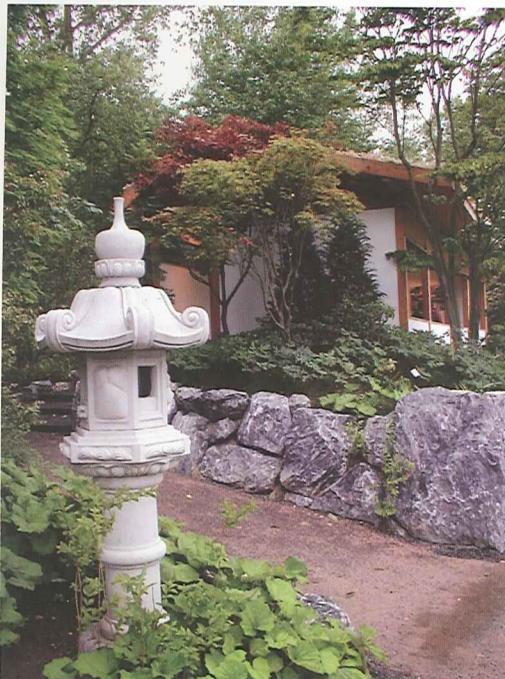
## ■庭の景（伝統的な庭園文化の凝縮）



竹溪の門(外から望む)



催事広場から漣紋の庭を望む



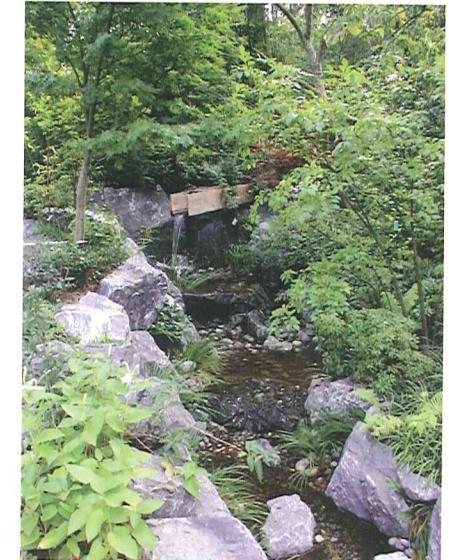
湖曲亭(出口側)



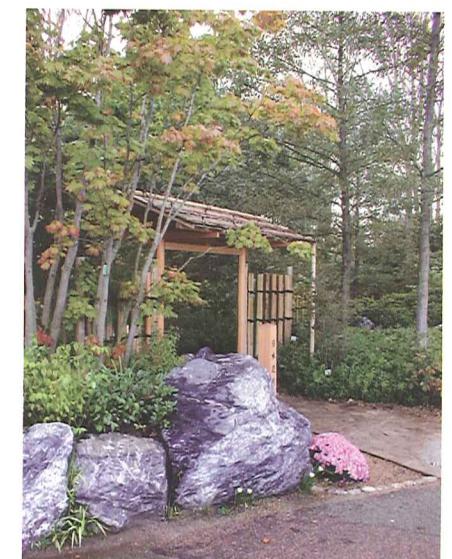
幽谷の庭



竹溪の門(案内標識)



幽谷の庭



竹溪の門(内から望む)

# 会期中の行催事

## ■日本国政府出展オープニング（4月6日）

フロリアード2002の開幕式典は、会場内ホールにおいて、女王陛下をお迎えして行われ、日本国を代表して政府代表の在蘭日本国大使館軽部公使をはじめ、屋外出展側からは国土交通省の稗田企画官が列席いたしました。

開幕式典後、日本国政府出展のオープニングを屋内、屋外の順で行い、日本庭園での屋外出展オープニングでは、稗田企画官の挨拶、参列者全員での鯉のぼりの掲揚、共同出展団体による楓門前でのテープカットと続き、最後に参列者がそろっての記念撮影、湖曲亭での野点を楽しみ、ゆっくりと日本庭園を観賞していただきました。



屋外記念撮影



野点



鯉のぼり掲揚



共同出展者によるテープカット



国土交通省代表挨拶(稗田公園緑地課企画官)

## ■ジャパンフェスティバル（7月16日～7月19日）

ジャパンデーはオランダの夏休み、人出も多い7月の中旬に設定し、16日のオープニング式典を皮切りに、4日間にわたり行いました。

16日のオープニングは、フロアード財団による歓迎のティーセレモニーから始まり、屋内展示場中央にある円形劇場でのジャパンデーオープニング式典と続き、その後ボランティア団体による各種の日本文化紹介の催事が行われました。

式典では、ロッテルダム日本人学校の小中学生による力強い太鼓演奏から始まり、政府代表挨拶、屋外出展を代表して国土交通省末永緑地環境推進室長の挨拶などが行われ、最後に小中学生の太鼓と踊りで、多くの観客の注目を浴びました。

庭園では、日本の夏の風物詩「縁日」を演出し、30名を超す在蘭日本婦人会のボランティアによる金魚すくい、ヨーヨー釣り、剣玉、独楽回し、凧づくり、飴細工など、子供たちに日本古来の遊びを通した文化を紹介とともに、湖曲亭では七夕飾りや裏千家のお茶、折り紙・習字の実演など、4日間の期間中により多くの方々に日本文化を紹介いたしました。



ロッテルダム日本人学校による太鼓演奏



国土交通省挨拶（末永緑地環境推進室長）



空手パフォーマンス



円形広場での開会演出



レセプション会場



日本庭園での縁日



剣玉・羽子板作り



縁日の様子



剣玉・独楽回し体験



飴細工



裏千家茶道の実演



羽子板作り



習字の実演



剣玉体験



国土交通省佐藤副大臣庭園視察  
平成14年9月



## ■日本国政府出展クロージング（10月20日）

フロリアード2002は、約230万人の入場者を数え、10月20日無事その会期を終了いたしました。当日の午後にはフロリアード2002全体の閉幕式が行われ、国土交通省からは松本審議官が出席いたしました。

日本庭園では、クロージングの式典として、松本審議官のご挨拶の後、会期中オランダの青空を泳いでいた鯉のぼりを参列者の手で下ろし、出展の成功を祝しての手締め、記念写真の撮影が行われました。



国土交通省代表挨拶(松本審議官)



鯉のぼり降下式



手締め



記念撮影



表彰式

## ■コンテストにおける受賞

出展した日本庭園は、会期中に行われたフロリアード国際コンテスト審査委員会の名誉審査団による審査で、国が出展する常設展示部門において高い評価を受け、金賞(Premier Acoolade)にランク付けられ、評価点数で2番目となる「優秀栄誉賞」を受賞いたしました。表彰式は、20日に行われたフロリアード2002閉幕式典の中で行われ、松本審議官が賞状と副賞のクリスタルを受け取りました。

### 参考表：国際コンテストの体系と上位入賞国等

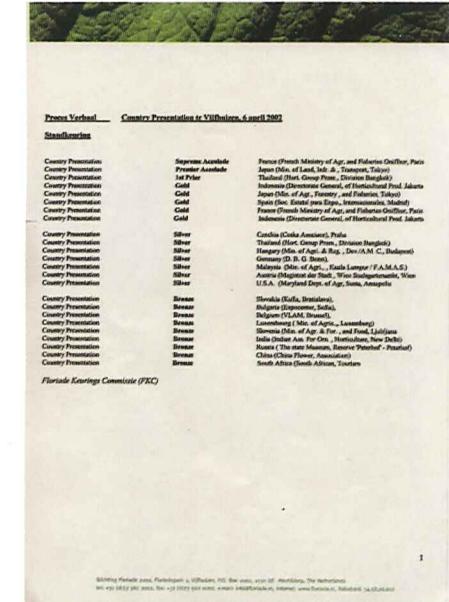
区分	審査得点	賞の名称	審査得点の順位	受賞国
金	10.00～9.00ポイント	最高栄誉賞	1位	フランス(屋内展示)
		優秀栄誉賞	2位	日本(屋外:日本庭園)
		優秀賞	3位	タイ
		金賞	4位～	日本(屋内展示)ほか
銀	8.99～8.00ポイント	銀賞		
銅	7.99～7.00ポイント	銅賞		
一	7.00ポイント未満	参加賞		

## ■日本庭園出展の経緯

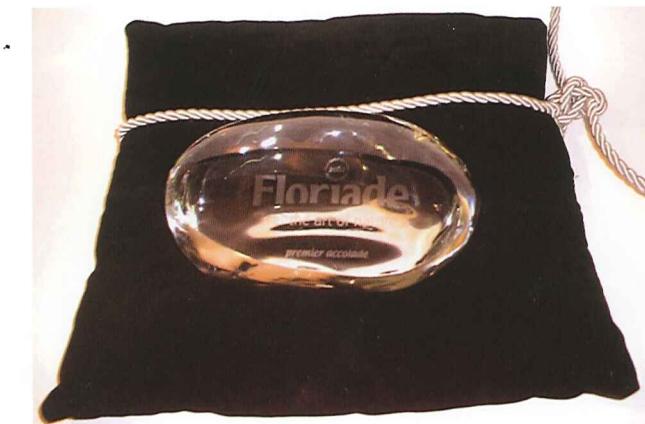
- 1998年10月 オランダ大使館より外務省宛に出展に関する口上書が届く  
 2000年 6月 フロリアード財団プランツーン次長が建設省を訪問  
     7月 海外日本庭園委員会にてフロリアード2002開催の報告  
 2001年 1月 出展庭園の基本計画策定のためのプロポーザル選考委員会開催  
     1月～2月 開催地(オランダ ハールレマミー)の現地調査  
     3月 海外日本庭園委員会にて出展庭園の基本構想案を審議  
     3月 フロリアード2002出展を日本国として政府閣議了解  
     6月 共同出展実行委員会準備会及び第1回実行委員会にて事業計画・予算を審議  
     6月 現地調査にてフロリアード財団へ出展庭園計画案の説明等  
     7月 海外日本庭園委員会にて出展日本庭園の変更計画案を審議  
     9月 出展日本庭園工事着工  
     10月 植栽用の樹木の隔離栽培地検査(川口市安行)  
     10月 日本国政府代表発令(在蘭日本国大使館 軽部参事官)  
     11月 鯉幟の寄贈依頼(ユニチカ・徳永鯉のぼり)  
     12月 第2回共同出展実行委員会にて行催事計画案等を審議  
 2002年 1月 植栽樹木横浜港から船出  
     1月 陳列区域政府代表者会議(27日、28日 出席:政府代表、農水省担当官)  
     2月 庭園植栽工事  
     3月 出展庭園建設状況確認  
     3月 第3回共同出展実行委員会にて共同出展団体展示計画等の審議  
     4月 コンテスト登録(国が出展する常設展示)  
     4月 フロリアード2002開幕式(5日:国土交通省 公園緑地課 稔田企画官出席)  
     4月 日本国出展開会式(6日:(財)静岡国際園芸博覧会協会、川口市 派遣)  
     5月 静岡デー(静岡国際園芸博覧会アピール)  
     6月 第4回共同出展実行委員会にてジャパンデー・博覧会後の庭園処置等の審議  
     6月 海外日本庭園委員会にてジャパンデー行催事及び博覧会後の庭園の扱い等を審議  
     7月 ジャパンデー(16日:国土交通省 緑地環境推進室 末永室長出席)  
     7月 ジャパンフェスティバル(16日～19日:日本庭園にて交流行催事等を実施:新潟県、  
       静岡県、愛知県、兵庫県、(財)淡路花博記念事業協会 派遣)  
     10月 フロリアード2002閉幕式(20日:国土交通省 松本審議官出席)  
       閉幕式にてコンテスト表彰(「優秀栄誉賞」受賞)  
     10月 出展場所に庭園存置のためハールレマミーへ庭園一式を引渡し  
     10月 ロッテルダム日本人学校へ樹木3本移植(寄贈)



優秀栄誉賞・賞状



表彰一覧



優秀栄誉賞・副賞クリスタル

## ■報道及び広報

フロリアード2002への出展庭園を紹介したパンフレットの作成、国内及び出展庭園での配布のほか、ホームページの開設などを通じて、幅広い広報活動を行いました。また、欧州最大規模の国際園芸博覧会への日本庭園出展として、国内外のメディアにも多数取り上げられました。

その他、湖曲亭では会期中に出展団体の紹介を兼ねたパネルの展示も行いました。



会場配布用印刷物



マイガーデン 2002年夏号



花卉園芸新聞  
平成14年4月5日



日本農業新聞 平成14年3月28日



フローリスト 2002年5月号



環境緑化新聞 平成14年4月1日

## ■出展団体

国土交通省

フロリアード2002共同出展実行委員会

(構成団体:新潟県、静岡県、愛知県、兵庫県、川口市、財団法人静岡国際園芸博覧会協会、財団法人淡路花博記念事業協会、財団法人都市緑化基金)

## ■協力団体

(社)日本造園建設業協会

(株)都市計画研究所

岩城造園(株)

箱根植木(株)

(株)日比谷アメニス

川口農業青年会議所

(株)ジェイコム

(株)日比谷花壇オランダ駐在事務所

(株)ユニチカ

(株)徳永こいのぼり

ロッテルダム日本人学校

在蘭日本婦人会

## ■屋外出展参加機関

財団法人都市緑化基金



発行 財団法人 都市緑化基金

〒102-0083

東京都千代田区麹町1-6 相互麹町第2ビル8階

TEL:03-5275-2291(代)